

紫 苑（しえん）

山梨県の(株)植原葡萄研究所が、昭和 58 年(1983)に「紅三尺」に「赤嶺」を交配し育成した品種である。

県内では、早島町の篤農家が無核栽培に成功し、平成 14 年(2002)から県内の温室ぶどう産地に試験導入された。県内関係機関が連携し、無核化技術の確立や高品質安定生産などの課題に取り組み、10月下旬から12月の出荷が可能な冬場の高品質なぶどうとして、市場からの期待も高い。



1 主要特性

- ・果粒は長楕円形で肉質はやや軟らかく、糖度が高く多汁で食味が良い。
- ・果皮は紫紅色である。
- ・果皮強度は強く、裂果は少ない。
- ・種なし栽培ができる。

2 データ

(1) 生産状況（令和 2（2020）年産）

栽培面積：15ha（農林水産省特産果樹生産動態等調査）

※他県では 1ha 以上の栽培実績なし

(2) 県内の主産地

岡山市、井原市、総社市等

3 出荷時期

9月～12月